

山口県平和運動フォーラムの活動報告（この間の経過とまとめ）

【岩国基地機能強化反対の取り組み】

岩国基地と米軍再編

山口県岩国市にある岩国基地には、米海兵隊第1航空団・第12航空群所属の戦闘機と、海上自衛隊の哨戒機部隊が駐留しています。在日米軍再編では、海上自衛隊の哨戒機部隊が岩国基地から神奈川県厚木基地に移転し、米海軍の空母艦載機部隊が厚木基地から岩国基地に移転してくることになりました。

現在配備されている海兵隊の航空機は57機で、厚木から移転する航空機は59機、合計すると116機にもなってしまいます。

市民と自治体の反対

日米政府が岩国基地の強化で合意するにあたり、日本政府から岩国市への相談や説明は、一切ありませんでした。突然の決定に岩国市長の井原勝介さんは反対を表明。また、住民の意思を確認するために、06年3月に住民投票を行いました。この住民投票で、51%の岩国市民が空母艦載機の移転に反対の意思を示しました。

ところが日本政府は、市長・市議会・市民が一体となった「空母艦載機移転反対」の声に耳を傾けることはしませんでした。それどころか岩国市に対して、約束していた補助金をカットするという手段で、反対意見の切り崩しを図ろうとしたのです。これが「新市庁舎建設費問題」の発端です。

カネで頼たたく日本政府

岩国市は、新市庁舎を建設しています。建設費81億5000万円のうち49億円を政府の補助金でまかなう予定で、既に2年間交付されています。最終年度の07年度は35億円の補助金を見込んでいました。岩国市への補助はSACO関係費が当てられていました。SACO（沖縄に関する日米特別行動委員会）は1996年、沖縄の基地負担軽減のため、普天間基地の返還や、実弾砲撃演習の訓練移転などで合意しました。その中で普天間基地の空中給油機を岩国基地に移転することになり、岩国市も同意し、その見返りとして、新市庁舎建設への補助金交付が決まりました。

ところがSACOで合意した空中給油機の岩国基地移転が米軍再編で再度検討され、岩国基地移転を基本に鹿屋基地とグアムへのローテーション展開へと変わりました。また、新たに空母艦載機の移転も決まりました。そこで政府は岩国市への補助金を、SACO関係費から米軍再編交付金に移したのです。

岩国市は空中給油機の移転は受け入れましたが、空母艦載機の移転には反対しています。そのために、政府は米軍再編交付金の交付対象となる自治体から岩国市を除外してしまいました。国が一方的に約束を反故にしたことで、岩国市には新市庁舎の建設費用がなくなりました。一方で、岩国市周辺の3市町は交付金の対象になっています。

政府は米軍再編を、「国の専管事項」としています。岩国市が拒否しても、空母艦載機移転を強行するでしょう。周辺自治体は交付金を受けながら、最も負担の大きい岩国市は交付金を受けられないことになってしまいます。

3 度示された艦載機移転反対の民意

1. 住民投票 (06年3月12日)

井原市長は空母艦載機の受け入れに関する市民の意思を確認するため、住民投票を実施しました。投票資格者 84,659 人の 51.30%にあたる 43,433 人が反対票を投じ、移転反対が住民意思になりました。

■投票結果

艦載機移転に反対	43,433人
艦載機移転に賛成	5,369人

2. 市長選挙 (06年4月23日)

住民投票後の3月20日、岩国市は周辺の7町村と合併し、新岩国市になりました。そのために、空母艦載機の受け入れに賛成する自民党からは、「合併前の住民投票の結果は無効」との声も上がりました。新岩国市では4月23日に市長選挙が行われました。自民党は移転賛成の候補者をたて、大物国会議員を投入して選挙を進めましたが、井原市長はダブルスコアの大差で勝利しました。

■選挙結果

井原勝介候補 (無所属)	54,144票
味村太郎候補 (自民推薦)	23,264票

3. 市議会選挙 (06年10月22日)

新岩国市の市議会議員選挙は、10月22日に行われました。結果は定数34のうち、受け入れ反対派・17人、賛成派・5人、意思表示せず・12人となりました。岩国市民はまたも、空母艦載機の受け入れに反対の意思を示したのです。しかしその後、公明党議員4人が反対から賛成に態度を変更、現在は反対派が少数になってしまいました。

政府が補助金をカットしたことにより、岩国市では、新市庁舎の建設費用を、新たに捻出しなければならなくなりました。そこで井原市長は、合併特例債を建設費にあてる予算案を作成しました。ところが、政府の意向をうけた保守系と公明党が多数を占める市議会で、この予算案は4回にわたって否決されてしまったのです。

そもそも、米軍再編交付金は、米軍基地という「迷惑施設」を受け入れている自治体に対する「迷惑料」です。自治体が米軍再編に「賛成か」「反対か」にかかわらず、等しく交付されるべきです。

自民党政府は、「地方分権の推進」を掲げています。地方分権は、「その地方のことは、その地方で決める」ことが原則です。国の考えと違うからと、補助金をカットしてしまうのは地方分権に反します。また、地方自治への不当な介入です。「カネ」で住民の頬をたたき、米国の軍事政策を押し付ける政府を、許すわけにはいきません。

4. 岩国市出直し市長選挙 (08年2月10日)

連合山口・・・岩国出直し市長選について「井原氏応援の方針打ち出す」

連合山口は岩国市長選への対応について、井原勝介前市長から推薦依頼はないものの、

「勝手連的に応援したい」との考えを明らかにした。

山口市内での記者会見で、中野威事務局長は「新市庁舎建設の補助金見送りなど国の仕打ちは許されない。連合山口の主張に近い井原氏を支援する方向でかかわりたい」と明言した。井原氏が組織的な支援を望んでいないとして、機関決定はせず、組合員に呼び掛けるなど勝手連的な動きを強める。

自治労は・・・「連合山口」「山口県平和運動フォーラム」と歩調を合わせた取り組み

いままでずっと続けてきている「基地反対」「米軍再編機能強化反対」のスタンス、ましてや今回の岩国市長選挙及び、後の山口県2区の補欠衆議院議員選挙の結果が、「今後の日本」「国のありかた」「全国の基地を抱える自治体の未来」に大きく政治的な影響をもつことから、岩国市長選挙に対し「連合山口」「山口県平和運動フォーラム」と歩調を合わせた取り組みを進める。ただし、単組（経過）・組織内議員の事情を考慮・協議した行動とする。

【結果】 在日米軍の再編に伴う厚木基地から岩国基地への空母艦載機部隊移転の是非が焦点となった岩国市出直し市長選挙が開票され、移転容認派が擁立した前自民党衆議院議員の福田良彦氏（37）が接戦の末に、移転に反対する前市長井原勝介氏（57）を破り初当選しました。このことにより、05年秋以降膠着していた移転計画が進むのは確実に国の予定どおりに2014年までに機能強化（完了）される可能性が高まりました。

岩国市長選挙 [投票率76.26%]

井原勝介	いはらかつすけ (57歳)	45,299票 (1,782票差)
福田良彦	ふくだよしひこ (37歳) 当選	47,081票

○反対に投票した45,299人の気持ちに答えるためにも、今後も基地機能強化に反対し、基地撤去の取り組みを進めます。また、自治体に対し「アメとムチ」による手段を使い、住民と地方自治を混乱に導いた国・政府に対し抗議行動に取り組めます。

【その他の取り組み】

岩国基地海兵隊員米兵による集団暴行事件についての知事要請行動

(2007年10月24日(水)山口県庁)

10月14日未明に、米軍岩国基地の海兵隊4名が広島市で日本人女性(19)を集団暴行したとされる事件をうけて、連合山口の中野事務局長と山口県平和運動フォーラムの工野副議長、豊村書記長(事務局長)は二井関成知事宛に、日米地位協定の抜本的な見直しを国に働き掛け、米軍再編に伴う空母艦載機部隊の岩国基地移転計画を容認しないよう求める申し入れを行った。

2007年10月24日

山口県知事 二井 関成 様

山口県平和運動フォーラム
議長 岡本 博之

岩国基地海兵隊員米兵による集団暴行事件についての要請書

10月14日、岩国基地所属の米軍海兵隊員による日本人女性への集団暴行事件が起こった。許すべからざる行為に強い憤りを抱くと共に、徹底的な捜査と法に則り、厳正に対処することを強く求めるものである。

山口県平和運動フォーラムは、岩国基地への空母艦載機移転計画が明るみに出た段階から、この増強計画には一貫して反対してきた。艦載機が岩国基地に移転されれば米兵は増員となり、こうした犯罪が繰り返されるのではないかと不安は高まる一方である。

沖縄での少女への暴行事件が大きな社会問題となった1995年以降、毎年のように米兵による凶悪犯罪が繰り返されている。事件現場となった広島市では、最近、繁華街へ大勢の海兵隊員が集まり、大声で騒いだり、器物を破損するなど、地域住民からの苦情が絶えないとの報道もある。現在、岩国市の愛宕山に米軍宿舎を建設する計画が漏れ伝わっているが、このまま米軍宿舎が建設されれば、周辺の治安の悪化は必至と言わざるを得ず、到底容認できるものではない。

また、警察当局による犯人の即時逮捕は「日米地位協定」が壁となって、極めて困難になっていることは誠に遺憾である。県知事として「日米地位協定」の抜本的な見直しを強く国に働きかけることを要請する。

県知事におかれては、移転計画を容認する姿勢を表明されているが、騒音被害はもちろんのこと、事故や今回のような事件の不安など、総合的に勘案され、いま一度移転計画受け入れについて見直しをされることを要請する。

以上

12・1 岩国基地機能強化反対「国の仕打ちに怒りの1万人集会」 in 錦帯橋

(2007年12月1日(土) 岩国市・錦帯橋下河川敷)

日米再編における岩国基地問題をめぐり、国が岩国市庁舎建設補助金35億円を見送ったことに抗議する「国の仕打ちに怒りの1万人集会」 in 錦帯橋が開催された。

集会には全国から約1万1000人(主催者発表)が参加。集会参加者は、「怒」と書かれた紙を頭上に掲げ、国に対して抗議の意思を示した。また、集会前段には、中央フォーラムと山口県フォーラムが「社会の正義を取り戻そう！岩国集会」を開催した。

